

ディノフィシス フォルティ(渦鞭毛藻)

(*Dinophysis fortii*)

回転しながら、
ゆっくりと泳ぐ。

100 μm

動画

類似種1
ディノフィシス アクミナータ

◆ 小さい(40~50μm)
◆ 中央で最も幅広い
◆ 横溝翼片の付け根が細い

付け根が細い

小さい 中央で幅広い

横溝 横溝翼片 縦溝翼片

横溝翼片の
付け根が幅広い

細胞幅の最大部
(中央より下側)

↑
遊泳方向

動画

類似種2
ディノフィシス コウダータ

◆ 同程度か、大きい
(70~170μm)
◆ 細胞の後方に、長くて太い突起がある

突起

付け根が細い

小さい 丸い

動画

類似種3
ディノフィシス インファンディプラ

◆ 小さい(38~45μm)
◆ 細胞が丸い
◆ 横溝翼片の付け根が細い

大きさ 長さ56~83μm

形態 色は赤褐色。左右に扁平で、側面から見ると長卵形あるいはナス形をしている。魚のヒレのような翼片(よくへん)をもつ。ディノフィシス属の中では、細胞のサイズが大きい部類である。類似種とは、細胞のサイズ、横溝翼片(よこみぞよくへん)の付け根の幅、細胞幅の最大部の位置などで区別できる。

動き 回転しながら、ゆっくりと泳ぐ。

漁業への影響：下痢性貝毒を産生し、二枚貝を毒化させる。マウス試験で二枚貝の毒量が基準値(0.05MU/g)を超えると出荷自主規制措置が講じられる。下痢性貝毒原因種として最初に報告された種で、東日本海域では主要な毒化原因種となっている。ただし、三重県沿岸で発生する本種の毒性は不明である。

漁業被害：三重県沿岸における本種の発生と二枚貝の毒化との因果関係は不明である。

発生海域：伊勢湾~熊野灘沿岸

発生時期：4~7月頃